

最適化に向けて見直しが進む公共施設



▲旧甲南保健センター

→ 複合化



▲複数の施設の機能を併せ持つ複合施設として改修中の甲南第一地域市民センター



▲水口学校給食センター

→ 集約化



▲建設が進む(仮)西部学校給食センター(水口町山上地先)



▲信楽学校給食センター

→ 譲渡



▲地元地域へ譲渡された里山かむら交流館

地域にとって必要とされる施設へ

これ以外にも、見直しを進めるべき公共施設が多くあります。

最適化を進めていくためには、現状での施設の利用状況や劣化状況などを踏まえ、地域にとって必要とされる施設や、近年全国的にも多発する災害に備えた機能を併せ持つ公共施設にしていくことも必要です。

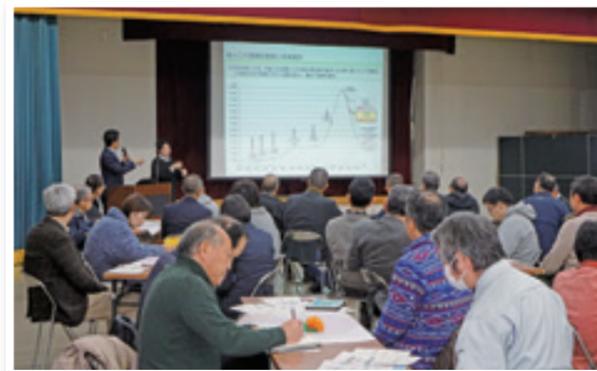
より多くの市民参加を

これからの公共施設のあり方について市民の皆さんと共に考える場として、市では今後も説明会等を開いていきます。昨年度のタウンミーティングでは、年代や性別、地域に若干の偏りがありました。今後実施していく説明会にはさらに多くの方のご参加をお待ちしています。

子どもから大人までが利用できる、誰もが使いやすい、そんな公共施設をみんなの手でつくり上げていきましょう。

タウンミーティングで考える甲賀の未来

昨年度、各地域を会場に「オール甲賀で考える甲賀の未来」と題して、これからの公共施設をテーマにタウンミーティングを実施したところ、延べ247人の皆さんに参加いただきました。



出された主な意見

- 廃止となる施設の使い方はどうなるのか？
- 施設を複合化、集約化すべきではないか？
- 施設への思い入れもあり、減らすのは難しい。
- ハコモノは最小限にしてほしい。
- 活動範囲が広がり利用方法も変わった。利用頻度を考えて整理すべき。
- 利益を上げられる公共施設の利用を考えるべき。
- 子どもからお年寄りまで包括的に集まれる施設が必要。
- 民間と共存するため、施設の役割を確認する必要がある。
- 旧町単位で話し合うのではなく、垣根を越えて検討してはどうか。

参加者の皆さんからはさまざまな意見を頂戴しました。どのご意見もこれからの公共施設のあり方を考えるうえで大変重要なものであり、市としては、こうしたご意見を踏まえつつ、施設の利用状況も考慮し最適化を図っていきます。